

能力と能力維持 Position Statement on Competency and Maintaining Competency 2012
--

声明書の目的の概説

世界作業療法士連盟(WFOT)は、作業療法士が有能な方法で実践するために必要な事柄があると認識している。有能な実践とは、実践家が現在の地域の実践に沿った論理的な方法で実践しなければならないことを指す。WFOTが推奨するのは、実践しているすべての作業療法士が、自分の実践をこの声明書の内容に沿ったものとする事である。

個々の作業療法士が「害を与えない」ことを確実にするために、WFOTは、作業療法士が生涯学習のプロセスを通して、自分の知識、技能、遂行を維持する必要があると提案する。

有能な作業療法実践は、私たちの内的、および外的関係者に対して、作業療法という専門職の透明性を促進する。

WFOTのポジション

WFOTは、すべての作業療法士のために、専門職としての仕事のすべての側面で有能な実践をすることを必須とするよう推進する。

WFOTは、有能さが作業療法の実践者、教育者、WFOTメンバーである協会、社会との協働を通して定義されると提案する。

WFOTは、WFOTメンバーである協会が自分たちの地域の状況において推奨される能力を定義し、その能力が実行され、経過観察される仕組みを設立することを奨励する。

作業療法にとってのポジションの重要性について

WFOTのすべての会員国は、WFOT作業療法士教育最低基準(2002)¹⁾に合致しなければならない。この基準は、作業療法を実践するための必須能力の基盤である。さらに、すべての会員国は、その国で実践するための能力を評価するために作成された枠組みをもつことも期待される。WFOTはまた、WHOにより定義された核、マネジメント、リーダーシップ²⁾を保証することも行う。

この声明書は作業療法実践における優秀さ標準を開発し促進するためのWFOT優先事項³⁾とも関連する。

WFOTの倫理綱領⁴⁾は、作業療法士が、生涯学習と、最良な入手可能なエビデンスに基づいて自らの専門職の仕事を行う知識と技能を使うことを通して、専門職としての発達に参加する責任があると述べている。この原則は、測定可能な安全な成果を確実にしていく有能な実践を促進する。

社会にとってのポジションの重要性について

WFOTは、実践のための能力が、すべての人のための質の高いサービス提供における専門職の貢献につながると考えている。作業療法士からサービスを受ける一人ひとりが、作業療法実践における優秀さの標準となるサービスを受ける権利がある。この声明書の原則に沿うことは、安全で有能な実践をする必要があると、作業療法士と作業療法学生が意識化することを確実にする。

このWFOT声明書は、「作業療法士のための資格取得レベルの能力」(2008)⁵⁾、WHOの効果的な専門職の行動を定義した「世界的能力モデル」⁶⁾、「作業療法における学位プログラムの設計と供給のためのTUNING Europe Reference Points」⁷⁾と一貫するものである。

結論

このWFOTの声明書は、会員である作業療法協会が、自分たちの地域状況の中で推奨される能力を定義し、個々の作業療法士が有能な実践をするよう推奨する。

WFOTは、作業療法士が環境変化や臨床実践や研究において、新たに必要とされる事項に有能に対応することを推奨する。これは、作業療法実践者が、すべての社会において作業療法サービスを利用できるすべての人のために、質の高いサービスを提供することを確実にするだろう。

文献

- 1) WFOT (2002). Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists. WFOT. www.wfot.org
- 2) World Health Organization (WHO). Global Competency Model.
- 3) WFOT (2007). Strategic Plan 2007-2012. WFOT.

<https://www.wfot.org/resources/competency-and-maintaining-competency>

(2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

4) WFOT: Code of Ethics (revised 2005). WFOT.

5) Burnett, T., et al, (2008): Entry Level competencies for Occupational Therapists. WFOT.

6) World Health Organization (WHO). Global Competency Model.

7) COTEC and ENOTHE (2008)